

聖学院 Q&A

よくある質問にお答えします。

入試

Q&A 01 2科目と4科目の可否判定はどのように行われますか?どちらが有利ですか?

まず2科目合計点で上位8割を選抜し、残りの2割を4科目で選抜します。どちらが特に有利ということはありません。

Q&A 02 一般入試とアドバンス入試の違いは何ですか?

問題の難易度が異なります。アドバンス入試では大手学習塾の模擬偏差値50～55レベルの受験生を意識して作問しています。入学後、アドバンス入試で合格または一般入試とアドバンス入試どちらも合格した方はアドバンスクラスに、一般入試で合格または第3回アドバンス入試でスライド合格した方はレギュラークラスになります。

Q&A 03 思考力入試について、どのような対策を取れば良いですか?

ニュースや日常的な出来事について家族で話し合い、多角的な視点を持つことが大切です。説明会で開催される思考力セミナーで入試に近い体験をすることができます。

※他にも募集要項の9ページに入試についてのQ&Aがあるのでご参照ください。



学校生活・生徒の様子

Q&A 04 昼食はどのように取りますか?

お弁当と学食の両方を利用できます。学食は中学1年生から誰でも使用できます。

Q&A 05 不登校になった場合のフォロー体制はありますか?

担任の先生から連絡を取るなどしています。学業に関しては、オンラインで課題を出すことは可能です。

授業内容

Q&A 06 英語と数学の進度は先取りしていますか?

英語と数学はかなり先取りしており、中学3年の1学期頃には中学内容が終わります。

Q&A 07 聖書の授業はありますか?また、キリスト教信者でなくても心配ありませんか?

6学年で聖書の授業があり、成績もつきます。毎朝礼拝がありますが、キリスト教信者でなくても問題ありません。

部活動

Q&A 08 部活動は複数参加できますか?また、初心者でも大丈夫ですか?

部活動に制限はなく、2つ以上の活動も可能です。約8割の生徒が初心者から始めていますので、心配ありません。

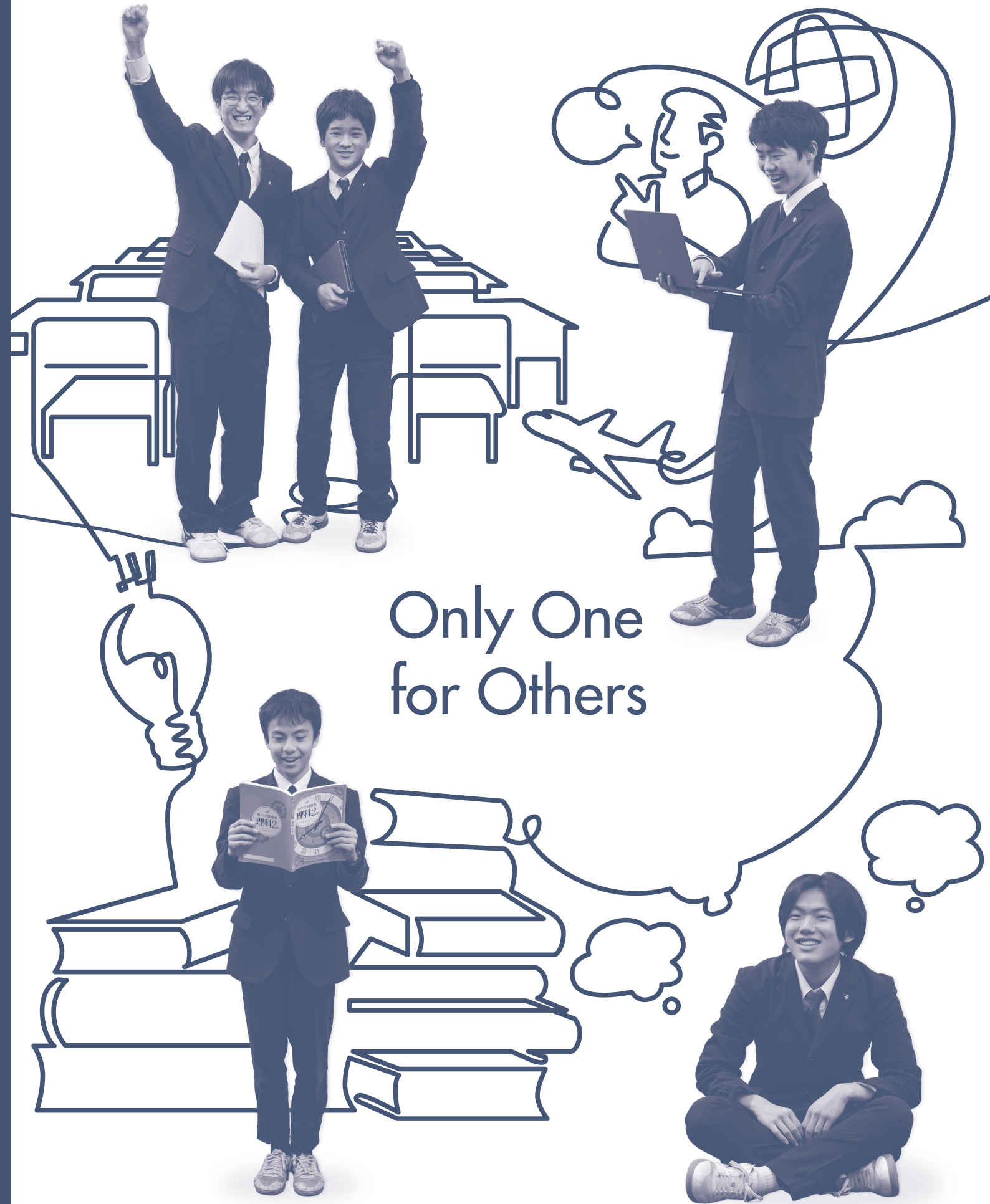
進路

Q&A 09 高校への内部進学率はどのくらいですか?

進学希望者は、ほぼ100パーセントの生徒が進学します。

Q&A 10 大学の指定校推薦制度について教えてください。

指定校推薦で進学する生徒は約30%程度です。年度によって変動があり、夏休み明けに公表されます。青山学院大学や国際基督教大学(ICU)など、キリスト教関連の難関私大の指定校推薦もあります。聖学院大学への推薦入学制度には学校長推薦があり、系列校としての優遇措置もあります。



聖学院という“大樹”に育まれる一貫校ならではの自己形成

幼稚園から大学・大学院までを擁する聖学院では、下級生は常に上級生の姿を見ながら、上級生は先輩としての姿を見せなければという意識を持って、成長していきます。この大きな年齢集団の中で、自然と他者貢献の精神が育まれ自己形成していけることは、本学院で学ぶ園児・児童・生徒・学生にとってかけがえのない財産です。

聖学院大学大学院

高度な専門知識をもち世界と社会に貢献しうる、豊かな精神性のある人間を育成する

聖学院大学

豊かな人間力（共感力・対話力・実践力）を養成し、市民社会の各分野で、専門性とコミュニケーション力をもって貢献できる人間を育成する

聖学院中学校・高等学校

Only One教育の実践、豊かな人格を育てる

女子聖学院中学校・高等学校

自らの賜物を用いて他者と共に世界のために貢献できる女性を育成する（自立できる強さ、共生する喜び、新しい世界を創造する意欲、豊かな感性と実行力・実力の涵養）

聖学院小学校

神から与えられた賜物と身につけた知識、技能を自分のためだけでなく、他者のためにも用いる人を育てる

聖学院幼稚園

日々の感謝と奉仕からうまれる豊かな心の成長を育む

聖学院みどり幼稚園

神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む

Principal's Message



聖学院中学校・高等学校
校長 伊藤 大輔

「Only One」、それは聖学院が大切にしている言葉です。初代校長・石川角次郎は、「聖学院」の名称の由来は「聖学」の「院」だと語りました。聖学とは聖人に学ぶのみならず聖人になることだと更に続きます。「聖人」、これの再表現が「Only One」です。「聖人」、本当の自分を知っているものです。人は何かに影響を受けています。その結果、依存、支配の中で自分を形成し、いつしか自分以外のものが沢山貼り付いたものを自分だと思い込みます。自分に貼り付いているものに気が付きそれを剥がしていく。本当の自分。自分だからできる仕事、使命を見出していく。建学以来、聖学院が培ってきた伝統です。「探究」「STEAM」「グローバル」「ICTの活用」、聖学院が重んじているものは建学の精神を実現するためのものです。身体の鍛錬は心の成長に不可欠です。「この身体」「この心」を持った私に与えられた使命。私の使命と向き合う。聖学院は「生涯の課題」の入口に案内をしています。



SEIG VISION 2023-2027

将来の日本および国際社会に貢献する人間を育成
「誰一人取り残さない」世界の実現を目指して

- 現代における複雑化した社会課題の解決
- 人財育成を通じた SDGs 開発目標達成への貢献
- 個人主義的社会への新しい心のあり方と行動規範の提示

1. 自身の成長への貢献

- ・英語教育
- ・探究力
- ・デジタルシティズンシップ

2. 他者への貢献

- ・キリスト教教育
- ・ボランティア活動

3. 地域への貢献

- ・地域課題に取り組む
- ・学生団体の活動支援
- ・自治体との包括連携協定

4. 世界への貢献

- ・SDGs 推進
- ・国際交流

ビジョンを実現するために聖学院が
提供する価値「Value」の育成

真理を探究する
学習者の育成

学び得た
知の実践

人間理解の
深化

ビジョン達成のための
キリスト教教育

他者のために
生きる
個を育てる

知性と行動力を
育てる

固有な賜物の
発見を助け
人格完成へ導く





1. 聖学院DATA

2. 2026年度中学入試について

Only One for Others
SEIGAKUIN 2027 DATA BOOK

学年編成 2026年4月現在

中学	生徒数	クラス数	高校	生徒数	クラス数
1年	183	5	I年	155	5
2年	168	5	II年	166	5
3年	217	6	III年	167	5
合計	568	16	合計	488	15

帰国生入試入学者

学年	中学帰国生入試	高校帰国生入試	合計在籍数
中学1年	5		5
中学2年	2		2
中学3年	4		4
高校I年	8	1	9
高校II年	6	1	7
高校III年	8	3	11
総計	33	5	38

学習時間 (2026年)

予鈴	8:15
HR・点呼	8:20
礼拝	8:30～8:45
第1時限	8:55～9:40
第2時限	9:50～10:35
第3時限	10:45～11:30
第4時限	11:40～12:25
昼休み	12:25～13:20
予鈴	13:15
第5時限	13:20～14:05
第6時限	14:15～15:00
(終礼)	15:10～15:20
第7時限	15:30～16:15
下校予鈴	18:25
下校	18:30

生徒の通学圏 ※中1～高Ⅲ：2026年4月現在

東京都	872 名	
市区	中学	高校
北区	49	25
世田谷区	34	32
文京区	41	21
練馬区	27	25
板橋区	28	23
豊島区	31	18
江東区	24	23
新宿区	22	25
港区	20	22
大田区	18	19
足立区	20	15
荒川区	17	16
目黒区	20	11
品川区	19	11
台東区	17	12
渋谷区	13	15
葛飾区	9	19
杉並区	15	11
中野区	12	8
中央区	11	7
江戸川区	8	10
墨田区	7	5
千代田区	7	4
調布市	3	1
武蔵野市	1	3
西東京市	2	2
小金井市	2	1
三鷹市	1	2
府中市	0	2
小平市	1	0
東村山市	0	1
立川市	0	1
八王子市	0	1
町田市	0	1
清瀬市	1	0
総計	480	392

神奈川県		44 名	
市区	中学	高校	
川崎市	6	18	
横浜市	10	9	
藤沢市	1	0	
総計	17	27	

埼玉県		93 名	
市区	中学	高校	
さいたま市	14	18	
川口市	10	13	
越谷市	5	3	
戸田市	4	2	
吉川市	2	2	
三郷市	2	1	
蕨市	1	2	
上尾市	1	2	
八潮市	1	0	
坂戸市	1	0	
川越市	1	0	
鶴ヶ島市	1	0	
所沢市	1	0	
草加市	0	1	
久喜市	0	1	
北葛飾郡杉戸町	0	1	
白岡市	0	1	
朝霞市	0	1	
和光市	0	1	
総計	44	49	

千葉県	44 名	
市区	中学	高校
浦安市	5	2
習志野市	4	2
柏市	4	1
船橋市	3	3
千葉市	3	1
市川市	2	5
我孫子市	1	0
松戸市	1	3
市原市	1	0
旭市	1	0
流山市	0	2
総計	25	19

栃木県	2名	
市区	中学	高校
小山市	1	0
下野市	1	0
総計	2	0

茨城県	1名	
市区	中学	高校
つくば市	0	1
総計		1

川崎市内訳		
市区	中学	高校
川崎市中原区	2	5
川崎市麻生区	2	2
川崎市宮前区	2	2
川崎市多摩区	0	4
川崎市高津区	0	3
川崎市川崎区	0	1
川崎市幸区	0	1

横浜市内訳		
市区	中学	高校
横浜市港北区	6	2
横浜市青葉区	0	3
横浜市神奈川区	0	2
横浜市区	1	0
横浜市都筑区	1	0
横浜市瀬谷区	1	0
横浜市鶴見区	0	1
横浜市戸塚区	0	1

さいたま市内訳		
市区	中学	高校
さいたま市浦和区	4	7
さいたま市南区	5	3
さいたま市大宮区	3	1
さいたま市緑区	2	0
さいたま市西区	0	2
さいたま市見沼区	0	2
さいたま市北区	0	1
さいたま市中央区	0	1
さいたま市桜区	0	1

2026年度中学入試結果 2026年2月6日現在

入試名	入試日	募集人数	応募者数	受験者数	合格者数	実質倍率 (受験者数÷合格者数)	合格最低 得点率	備考
帰国生	12/6 AM	10	(A方式) 17 (B方式) 合計	13 合計	10 合計	1.3	非公表	
英語特別	2/1 AM	5	11	10	6	1.7	非公表	
第1回一般	2/1 AM	60	(2科) 72 (4科) 85	70 78	64 合計	2.3	63.0 60.5	
第2回一般	2/2 AM	20	(2科) 88 (4科) 112	56 48	60 合計	1.7	60.0 57.0	
第1回アドバンスト	2/1 PM	30	(2科) 41 (4科) 116	35 103	79 合計	1.7	52.0 49.3	合格者は、アドバンスト合格のみ
第2回アドバンスト	2/2 PM	20	(2科) 40 (4科) 110	23 52	39 合計	1.9	56.5 53.3	合格者は、アドバンスト合格のみ
第3回アドバンスト	2/3 PM	15	(2科) 45 (4科) 128	19 42	アドバンスト合格 12 レギュラー合格 5	3.6	60.5 63.5	
ものづくり思考力	2/1 PM	15	53	48	アドバンスト合格 0 レギュラー合格 30	1.6	非公表	
デザイン思考力	2/2 PM	10	37	23	アドバンスト合格 2 レギュラー合格 8	2.3	非公表	
グローバル思考力	2/3 PM	5	15	10	アドバンスト合格 2 レギュラー合格 2	2.5	非公表	
オンリーワン表現力	2/4 AM	5	53	15	レギュラー合格 8	1.9	非公表	

◆思考力入試

この試験では、教えられた答えではなく、自ら答えを見つけ出し、物事を深く考える習慣が評価されます。

試験は「思考力」と「協働振り返り」の2項目で構成されています。採点では、相手に伝える要素や、課題に対する分析力、解決策を考える視点が含まれているかを重視します。

評価は「情報の読み取り」「課題発見力」「論理性」などの項目ごとに、5段階のルーブリック基準に基づいて客観的に行われます。受験生1人に対し複数名の教員が評価にあたり、解釈の偏りなく公平な審査を徹底しています。

対策としては、学校説明会のワークショップに参加したり、日頃から気になっていることを調べて文章にまとめる練習をすることが有効です。



▶ 中学入試の詳細はこちらから

◆オンリーワン表現力入試

受験生一人ひとりが持つ賜物(好きなこと・得意なこと)を認識し表現できているか、その賜物を用いて本校でどのように学び、どのように他者に貢献していきたいかを表現できているかどうかを問う入試です。「グループ頭試問」では、3～4人1組で自己PRと本校志望理由をプレゼンテーションし、面接官と質疑応答を行います。また、「協働振り返り」の時間ではグループ頭試問で聴いた他者のプレゼンテーションに対して印象に残ったこと、自分のプレゼン・表現の改善点などをワークシートへ記入します。評価対象は、プレゼンテーションや質疑応答の内容、ワークシートの内容です。



3. 中学・高校 カリキュラム 2026年度実施例

◆中学校教育課程表〔週あたり授業時間数〕

中学1年	国語 4	社会 3	数学 5	理科 5	音楽 1*	美術 1*	保健体育 3	技術・家庭 2	外国語 6	聖書 1	総合的な学習 2	特別活動 1	計34*
中学2年	国語 4	社会 4	数学 5	理科 4	音楽 1	美術 2	保健体育 3	技術・家庭 2	外国語 6	聖書 1	総合的な学習 1	特別活動 1	計34
中学3年	国語 5	社会 4	数学 6	理科 4	音楽 1	美術 1	保健体育 3	技術・家庭 1	外国語 6	聖書 1	総合的な学習 1	特別活動 1	計34

※他に年間で10時間プラス。中学1年生の合計時間数は音楽・美術で変更有。
◎「総合的な学習」は一部集中授業として実施しています。中1の1時間は「情報プログラミング」です。

◆高等学校教育課程表〔週あたり授業時間数〕

*アドバンストクラスおよびレギュラークラス

■高校Ⅰ年

必修(32単位)														必修選択 (2 単位)	
英語		国語		数学		地理歴史	公民	理科		情報	保健体育	聖書	総合	特別活動	芸術
英語コミュ 4	論理・表現I 2	現代の国語 3	言語文化 2	数学I 3	数学A 2	歴史総合 2	公共 2	物理基礎 2	生物基礎 2	情報I 2	体育 2 保健 1	聖書 1	総合的な 探究の時間 1	HR 1	音楽I 美術I 書道I 2

■高校Ⅱ年

文系	必修(25単位)										必修選択 (9単位)			
	英語		国語			理科	家庭	保健体育	聖書	総合	特別活動	地理歴史	数学 / 公民	芸術
	英語コミュⅡ 4	論理・表現Ⅱ 3	論理国語 2	文学国語 2	古典探究 3	化学基礎 2	家庭基礎 2	体育 3 保健 1	探究	総合的な 探究の時間 1	HR 1	日本史探究 世界史探究 4	数学Ⅱ 現代社会探究 3	音楽Ⅰ→Ⅱ 美術Ⅰ→Ⅱ 書道Ⅰ→Ⅱ 2

理系	必修(30単位)											必修選択 (4単位)	自由選択 (0～2単位)	
	英語		国語	数学		理科		家庭	保健体育	聖書	総合	特別活動	理科	国語
	英語コミュⅡ 4	論理・表現Ⅱ 3	理系国語 1	数学Ⅱ 4	数学B 3	化学基礎 2	化学 4	家庭基礎 2	体育 3 保健 1	聖書 1	総合的な 探究の時間 1	HR 1	物理生 物 4	理系古典 2

■高校Ⅲ年

文系	必修(24単位)								必修選択(8単位)				自由選択 (0～3単位)
	英語		国語		地理歴史	保健体育	聖書	総合	特別活動	地理歴史	数学／地理歴史		国語／公民
	英語コミュⅢ 4	論理・表現Ⅲ 3	論理国語 2	文学国語 2	古典演習 3	地理総合 2	体育 3	聖書 1	総合的な 探究の時間 1	HR 1	日本史探究発展 世界史探究発展 4	数学B&数学C 日本史演習&日本史共通テスト演習 世界史演習&世界史共通テスト演習 2&2	現代文演習 古典演習 政治経済 2(政治経済は3)

理系	必修(24単位)								必修選択(10～12単位)				自由選択 (0～5単位)
	英語		数学		地理歴史	保健体育	聖書	総合	特別活動	数学	数学／地理歴史		国語 国語／公民
	英語コミュⅢ 4	論理・表現Ⅲ 4	数学C 2	数学演習 2	地理総合 2	体育 3	聖書 1	総合的な 探究の時間 1	HR 1	数学Ⅲ 数学練成 4	物理発展 生物発展 化学発展 4	物理発展／生物発展 化学発展／物理演習 生物演習／化学演習 2(理科発展は4)	理系古典 2 現代文演習 古典演習 政治経済 2(政治経済は3)

学期及び評価

■学期…3学期制、週6日授業(月曜日～金曜日6時限、土曜日4時限)。

■評価…学期毎に通知表に記入(教科別5段階評価)生徒経由で保護者に連絡します。

◆高校グローバルイノベーションクラス教育課程表

高校Ⅰ年

必修(35単位)														
GIC 独自科目					英語		国語	数学		地理歴史	理科	保健体育	聖書	特別活動
リベラル アーツⅠ 2	イマージョン コンピテンシー 1	イマージョン SDGsⅠ 2	STEAMI 6	プロジェクトⅠ 2	英語コミュⅠ 4	論理・表現Ⅰ 2	言語文化Ⅱ 2	数学Ⅰ 3	数学AⅡ 2	歴史総合Ⅱ 2	物理基礎Ⅱ 2	体育Ⅱ 2 保健Ⅰ 1	聖書Ⅰ 1	HRⅠ 1

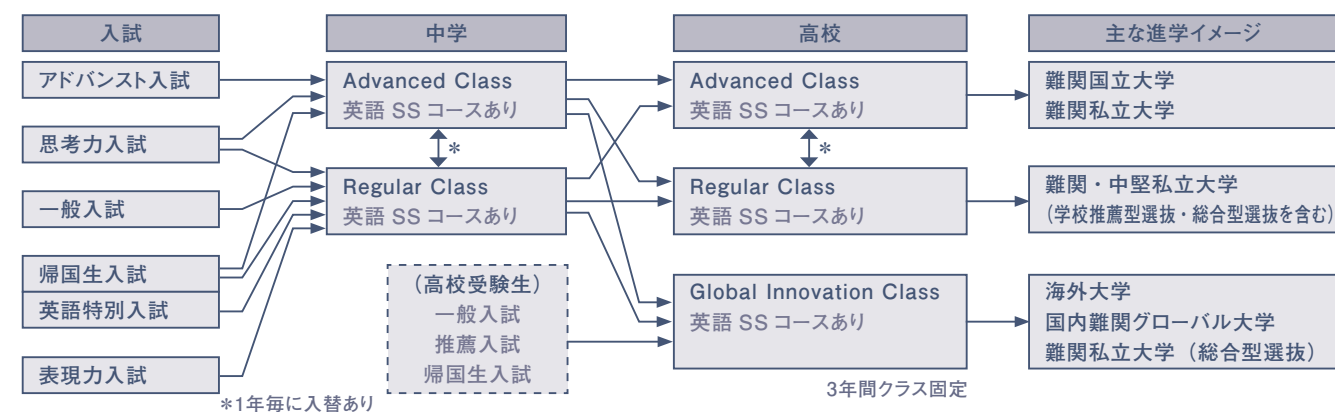
高校Ⅱ年

	必修(文系：30単位 理系：34単位)											必修選択 (4単位)	自由選択 (3単位)	
	GIC 独自科目				英語		国語／数学／理科		保健体育	聖書	総合	特別活動	地理歴史	数学
文系	リベラル アーツⅡ 2	イマージョン SDGsⅡ 2	STEAMⅡ 6	プロジェクトⅡ 2	英語コミュニケーションⅡ 4	論理・表現Ⅱ 3	文学国語 2	古典探究 2	体育 3 保健 1	聖書 1	総合的な 探究の時間 1	HR 1	日本史探究 世界史探究 4	理系数学 補習 3
理系							数学Ⅱ 4	物理 4						

高校Ⅲ年

	必修(文系：24単位 理系：26単位)											必修選択 (4単位)
	GIC 独自科目			英語		国語／数学／理科		地理歴史	保健体育	聖書	特別活動	地理歴史／数学
文系	リベラル アーツⅢ 2	イマージョン SDGsⅢ 2	プロジェクトⅢ 2	英語コミュニ ケーションⅢ 4	論理・表現Ⅲ 4	文学国語 2	古典探究 2	地理総合 2	体育 2	聖書 1	HR 1	日本史探究発展 世界史探究発展 4
理系						数学C 2	物理発展 4					数学Ⅲ 数学練成 4

◆クラス編成



中学では2種類、高校では3種類のクラス編成となっています。Regular ClassとAdvanced Classは毎年入れ替わりがあるため、基本事項の進度は変えずに授業展開しています。ただし、学習深度・難度が変わります。例えば、中学数学では、Regular Classは基本事項を中心に発

展内容を一部取り扱う授業となりますが、Advanced Classでは基本事項・発展内容、さらには教科書等には掲載されていない内容も一部取り扱っています。数学・国語を中心に、学習難度を変えています。



4.進路指導①

聖学院の6年一貫教育

● 授業 ▲ 体験・イベント ■ 課外活動 ♥ サポート ★ 希望者 ◆ 長期休暇中の講座

	中学Ⅰ年生	中学Ⅱ年生	中学Ⅲ年生		高校Ⅰ年生	高校Ⅱ年生	高校Ⅲ年生
オンリーワン教育	●礼拝／聖書科授業／特別伝道月間／クリスマス礼拝／L.L.T(Learn Live Together)						
	▲オリエンテーション ▲クラスづくり ▲母の日礼拝						
探究型授業	放課後ラボ ■★中学GIL／★SDGsラボ						
			課外活動プロジェクト ■★みつばちプロジェクト／ 課外活動コンテスト ■★ベネッセSTEAMフェスタ／		■★女子聖学院協働SDGsプロジェクト／■★聖学院クリエイティブカレッジ ■★マイプロジェクトアワード／■★SDGsアワードなど		
	ICEモデル授業					●理科課題研究(ポスター発表)	
	体験学習				Global Innovation Class ●リベラルアーツ		
グローバル教育		▲夏期学校(北アルプス登山)	▲糸魚川農村体験学習		▲ソーシャルデザインキャンプ	▲沖縄平和学習	
	▲自由研究(夏休み～10月発表)				■★高校探究サマースクール(◆夏休み)		
					Global Innovation Class ▲プロジェクト		
	▲英語スピーチコンテスト					♥検定試験・大学受験対策	
英語力の向上	●国内グローバル講座					国内大学一般選抜対策／英検・TOEFL対策講座	
	オンライン英会話					エッセイライティング	SAT・インタビューテスト対策
	★English Camp					●■スピーチコンテスト	海外大学進学サポート
							海外進路説明会／出願サポート／ Go Campus
海外研修・留学					Global Innovation Class イマージョン(SDGs／コンピテンシー)		
			event 体験 ▲★海外研修				
			オーストラリア研修／		アメリカシアトルプログラム／フィリピン研修／MoG(ネパール／ベトナム隔年)		
					タイ研修旅行		
STEAM教育			event 体験 ▲★留学				
			ニュージーランド(3ヵ月)、アメリカ・カナダ(1年間)				
	中学ラボ ■★中学Global Innovation Technology(◆夏休み・冬休み)				Global Innovation Class STEAM(サイエンス・デザイン・ICT) 高I:STEAM I／高II:STEAM II		
	●理科探究 ●情報プログラミング microbit／動画作成／生成AI 情報×聖書科「クリスマスオーナメント」				●情報 I ReSAS活用／生成AI活用		
学習・進路指導	♥★MANNABASE						
	♥★Evening講座						
	♥できたこと生徒手帳／自学ノート						
	MANNABASE 聖学院を卒業した現役大学生たちが、先輩として後輩たちの進路相談や学習サポートを行います。 平日15:30～18:30、土曜13:00～16:00で開催しています。	基礎学力テスト 中学2年生までの学習内容をテスト形式で網羅的に確認。MANNABASEのチューターが学習サポートを行います。	◆長期休暇中の講座 学校内で特別講座を実施します。生徒が苦手とする内容の復習やハイレベル演習、小論文対策などテーマは多岐にわたります。		♥★◆サマーセミナー		
			♥夏期勉強合宿		文理選択 自分のやりたいこと・ありたい姿を前提に、担任・生徒・保護者と面談して文系理系を選択します。	♥文系・理系別選択授業	
					♥◆冬季勉強合宿 ♥学びの計画書(志望理由書)作成スタート	♥一般選抜対策 ♥総合型選抜・推薦入試対策	

主な大学合格実績・推薦入試について

◆2026年3月卒業生 大学等合格状況

(2026年7月15日現在)

■ 国公立・難関私立大学

大学	現	既
北海道	1	
国際教養	1	
電気通信	1	
東京芸術	1	
東京都立	1	1
早稲田	7	2
慶應義塾	3	5
東京理科	5	
国際基督教	2	
明治	8	7
青山学院	6	
立教	12	6
中央	5	2
法政	11	1
学習院	6	2

■ 私立大学

大学	現	既
同志社	1	
立命館	3	
桜美林	1	
大阪歯科		1
神奈川	5	
神奈川歯科		1
神奈川工科	1	
金沢工業	1	
関西外語	2	
神田外語	1	
関東学院	1	
北里		1
近畿	3	
ColU	1	
産業能率	1	
慈恵会医科		1
淑徳	2	
順天堂	1	
城西	1	
湘南医療	2	
湘南工科	1	
昭和薬科		1
大正	3	
宝塚	1	
拓殖	2	
玉川	4	1

■ 私立大学

大学	現	既
二松学舎	3	
日本工業	3	
日本歯科	1	
人間総合科学	1	
日本体育	1	
北海道医療	4	1
星薬科		1
松本歯科	1	
武蔵野	6	2
武蔵野美術	4	
明治薬科	2	2
明星	1	
横浜薬科	1	
立命館APU	3	
麗澤	1	
聖学院	17	

■ 芸術系(内数)

大学	現	既
武蔵野美術	4	
美術系 計	4	

■ 海外大学

大学	現	既
Butler University College(米)	1	
Depaul University College of Communication(米)	1	
Loyola University Chicago School of Communication(米)	1	
Marquette University College of Communication(米)	1	
Temple University(米)	2	
University of Indiana Bloomington(米)	1	
University of Kentucky(米)	1	
University of Kentucky College of Arts and Sciences(米)	1	
University of Nebraska Omaha(米)	1	
University of Southern California school(米)	1	
University of Utah(米)	1	
Valparaiso University College of Arts and Sciences(米)	1	
Yonsei University(韓)	1	
Kyung Hee University(韓)	1	
韓国外国語大学校(韓)	1	
深圳大学(中)	1	
国立台湾大学(台)	2	
逢甲大学(台)		1
海外 計	19	1

■ 合格状況総数(卒業生数133名)

合格数	2026	
	現	既
国公立	5	1
私立	268	61
専修学校等	6	1
海外留学	19	1
総計	298	64

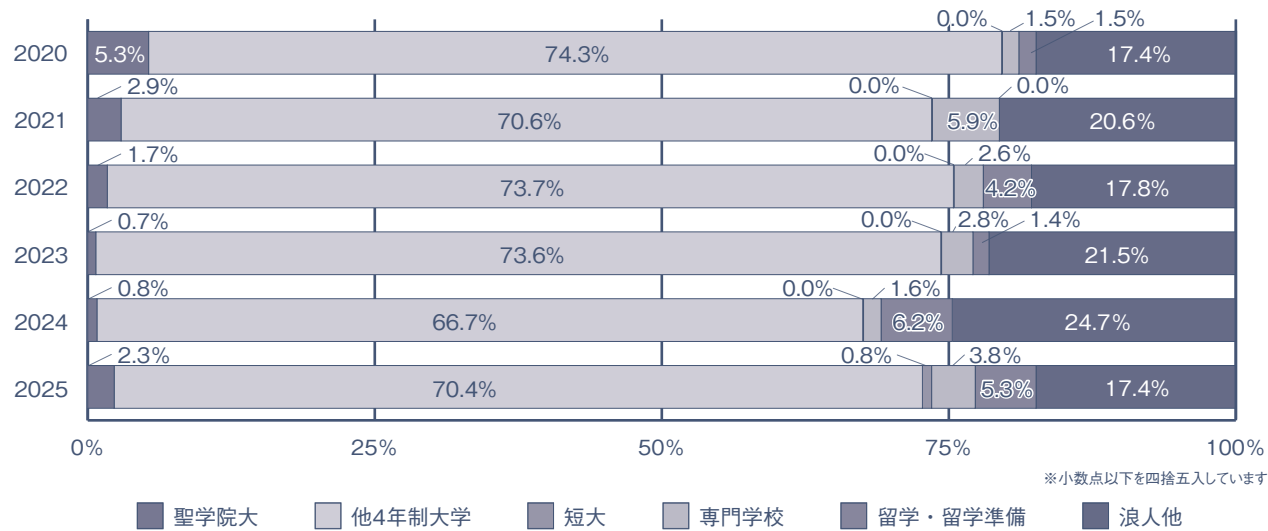
■ 医・歯・薬学部系ほか(内数)

大学	現	既
大阪歯科		1
神奈川歯科		1
北里(看)		1
慈恵会医科(看)		1
城西(薬)	1	
昭和薬科		1
帝京科学(医療科学)	2	
東京工科(医保)	3	
東京薬科	3	
日本(歯)		1
日本歯科	1	
人間総合科学	1	
北海道医療(歯)	4	1
星薬科(歯)		1
明治薬科	2	2
横浜薬科	1	
医療系 計	18	10

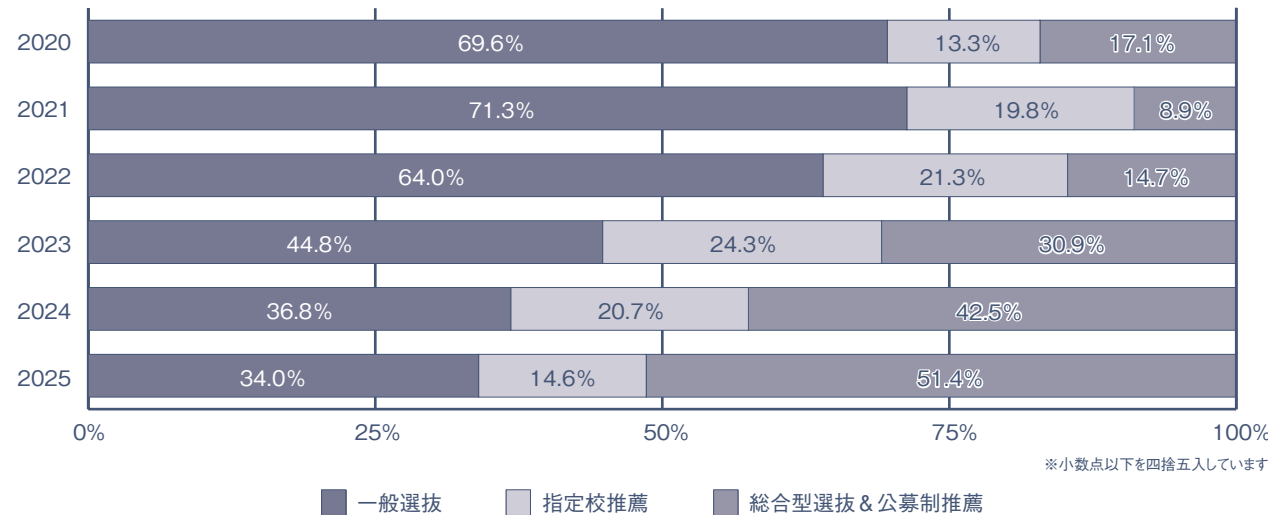
■ 私立大学

大学	現	既
成蹊	2	1
成城	4	1
獨協		1
國學院	5	
武蔵	4	
明治学院	3	1
日本	16	5
東洋	6	3
駒澤	4	1
専修	5	4
大東文化	1	2
東海	6	
亜細亜		1
帝京	4	2
国士館	2	
芝浦工業	2	
東京都市	6	
東京電機	9	
工学院	7	
関西学院	1	

進学先推移



入試形態別推移



◆2026年大学入試 指定校推薦一覧(一部抜粋)

青山学院大学／麻布大学／北里大学／学習院大学／工学院大学／国際基督教大学／成蹊大学／成城大学／順天堂大学／玉川大学／千葉工業大学／東海大学／東京電機大学／東京都市大学／東京農業大学／東京理科大学／東洋大学／獨協大学／日本大学／武蔵大学／武蔵野美術大学／明治学院大学／立教大学／立命館アジア太平洋大学／淡江大学(台湾)／State University of New York New Paltz(アメリカ)／Swinburne University of Technology(マレーシア)／Enderun Colleges(フィリピン) 他、全148大学

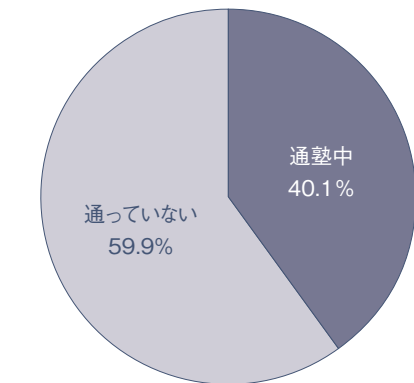
◆聖学院大学 推薦入試・一般入試(内部進学特別)

推薦入学制度があり、学校長推薦で進学できます。また、系列校としての優遇措置があります。

- 政治経済学部(定員130名):政治経済学科
- 人文学部(定員160名):国際文化学科、日本文化学科、子ども教育学科
- 心理福祉学部(定員110名):心理福祉学科
- 大学院:文化総合学研究科、政治政策学研究科、心理福祉学研究科

【場所】埼玉県上尾市(JR高崎線宮原駅下車徒歩15分・スクールバス約5分、JR埼京線(川越線)日進駅下車徒歩15分・西大宮駅下車スクールバス約10分)

◆2025年度中学1年生通塾率



◆2026年度教職員数

■ 私立大学

区分	常勤	非常勤
中1	8	
中2	8	
中3	9	
高I	8	
高II	7	
高三	7	
分掌長	12	
司書教諭	1	
養護教諭	1	1

区分	常勤	非常勤
カウンセラー		1
国語科	1	
事務職員	10	10
登校支援員		3
講師		38
計	72	53



5.進路サポート

①志望理由書作成サポート

高校Ⅱ年生の2学期後半から「学びの計画書」の作成をスタートします。高校Ⅲ年生では、それに基づいて教員で編成された「学内入試チーム」がサポートしながら志望校の志望理由書を作成します。

STEP1

自己分析を重ね、学びの計画書を言語化する

STEP2

年内入試チームの発足！一緒に強みを見つける

STEP3

進路獲得の姿勢を明確化

どのような体験や学びをしてきたか？

何に心を動かされたのか？

これから広げたいこと・深めたいことは？

0→1チーム

1→100チーム

これまで行ってきた学習や体験を通して、自分の価値観や信条を発見します。その視点から、これから学ぶテーマや問いを定め、自身のヴィジョンの実現に向けた計画を描きます。

2026年度から発足した聖学院の「年内入試チーム」。0→1チームでは、教員が生徒一人ひとりと向き合い、面談等を通して強みの言語化をサポートします。

「学びの計画書」の作成→添削を何度も繰り返し、生徒一人ひとりが持つ強みの可能性を広げていきます。

②進路センター

- 自分×進路
社会の動き・世界の今、趣味の世界など考えを広げて深める資料を随時更新
- 自分×進学
先輩や先生がおすすめする問題集をレベル・タイプ別に紹介
- 自分×変化
各種イベントや資格試験情報を随時更新



③合格者体験ポータルサイト

歴代の先輩たちの叢智が詰まった情報サイトです。聖学院で学校生活を送った先輩たちの進路選択の理由や軌跡、達成までの道のり、保護者のメッセージなど貴重な情報を惜しみなく公開しています。

OB座談会
聖学院を卒業した現役大学生を招き、様々なテーマや視点から意見交換を行う



④Evening特別講座

2013年4月に開講した聖学院中高生専門の学内塾です。中高一貫校の強みを活かし、学校のカリキュラムを大学入試に活用できるよう最適化された指導を行っています。

〈ポイント〉

予備校レベルの授業を少人数で受講可能

予備校だけでなく、大学の講義や社会人への講座などでも活躍している講師たちの授業を、1クラス約5～7名で受講できるのがEvening特別講座の強みです。

一般選抜入試だけではなく幅広いニーズに対応

総合型選抜や学校推薦型選抜にも対応できるよう、小論文や面接に精通した講師が常駐。TOEFLやTOEIC、IELTSなどの英語検定試験にも対応しています。

学習の悩みをサポートするチューターシステム

火～土曜日に開放される自習室には、チューターや授業担当講師が常駐し、問題の解き方や勉強法などの相談にのります。進路の相談や将来の仕事についての相談も受け付けています。

〈クラスラインナップ〉

聖学院中高のシラバスに準拠しながら、学んだ内容が大学入試でどのように応用できるかまで意識したカリキュラムとなっています。

中学生	高Ⅰ	高Ⅱ	高Ⅲ
中Ⅰ英語	英語	英語	小論文
中Ⅰ数学（標準）	数学（標準）	数学	英語
中Ⅰ数学（発展）	数学（発展）	小論文	英語演習
中Ⅰ国語	物理	現代文	数学
中Ⅱ英語	古文	古文	数学演習
中Ⅱ数学（標準）		日本史	古典
中Ⅱ数学（発展）		世界史	現代文
中Ⅱ国語		物理	日本史
中Ⅲ英語		化学	世界史
中Ⅲ数学（標準）		生物	化学
中Ⅲ数学（発展）			物理
英検対策			情報

※その他、個別指導や長期休暇中に開講する講座もあります。
※高校の講座は定員に満たない場合、開講しない場合があります。

6.諸費用について

学費・備品諸費用など(2026年度)

〈中学校〉		〈高校内部進学生〉		〈高校入学生〉	
●入学手続き時		●入学手続き時		●入学手続き時	
入学金	250,000円	入学金	200,000円	入学金	250,000円
施設費	125,000円	施設費	125,000円	施設費	125,000円
小計	375,000円	小計	325,000円	小計	375,000円
●学費月額		●高校Re・AdClass学費月額		●高校GIC学費月額	
授業料	49,000円	授業料	47,000円	授業料	54,000円
施設拡充費	7,000円	施設拡充費	7,000円	施設拡充費	7,000円
積立金・学年費※	12,500円	積立金・学年費※	16,500円	積立金・学年費※	16,500円
小計	68,500円	小計	70,500円	小計	77,500円
●4月に発生する費用		●4月に発生する費用		●4月に発生する費用	
PTA会費	7,200円	PTA会費	4,200円	PTA会費	7,200円
生徒会費	5,300円	生徒会費	7,700円	生徒会費	7,700円
後援会費	18,400円	後援会費	8,400円	後援会費	18,400円
小計	30,900円	小計	20,300円	小計	33,300円

※副教材・模擬試験・体験学習（教育旅行等）費・卒業対策費などが含まれます。

①制服〈冬服〉			④制服〈夏服〉		
ジャケット（混紡）		29,000円	半袖ワイシャツ（混紡）		4,700円
冬スラックス（混紡）		14,500円	夏スラックス（ウォッシュابل）		13,600円
長袖ワイシャツ（混紡）	SS～4L	4,800円	小計		18,300円
ネクタイ	エンジ・紺	2,200円	⑤ポロシャツ		
校章	中学・高校	700円	ポロシャツ 白・紺	XS～XXXXL	3,900円
校章用ねじ	中・高共通	150円	⑥その他備品		
上履き兼体育館履き	20.0cm～31.0cm	6,000円	Vネックセーター	SS～4L	6,200円
小計		57,350円	ベスト	S～4L	5,700円
②体育着			聖学院高等学校マーク入新スクールバッグ		16,500円
半袖シャツ	150～BLL	3,300円	聖書バッグ		1,500円
ハーフパンツ	150～BLL	5,500円	スクールバッグ防水カバー		1,500円
長袖ジャージ（上）	150～BLL	7,700円	ジャケット用ボタン	大	270円
長袖ジャージ（下）	150～BLL	6,600円	ジャケット用ボタン	小	250円
小計		23,100円	ジャケット用ボタン裏ピン		110円
③聖書			ネクタイピン		990円
旧新約聖書（新共同訳聖書）		3,740円	コート	SS～BEL	25,300円
讃美歌（第二編付）	二編付	3,080円			
小計		6,820円			

①～③	合計（目安）	87,270円
-----	--------	---------

◎聖学院教育振興資金について◎

任意で入学手続き時に1口100,000円、2口以上にご協力いただけますと幸いです。

海外研修・留学諸費用

海外研修諸費用					
	研修地	対象学年	定員	時期／日数	費用
春期休暇	フィリピン	中3～高Ⅱ	20名	3月/8日間	約40万円
夏期休暇	オーストラリア	中3～高Ⅱ	30名	8月/15日間	約70万円
	MoG（ベトナム／ネパール）	中3～高Ⅱ	40名	8月/8日間	約36万円
冬期休暇	タイ	高Ⅰ～高Ⅱ	25名	12月/13日間	約36万円
	イギリス	中3～高Ⅱ	20名	12月/9日間	約70万円
留学諸費用					
国名	対象学年	定員	時期/日数	形式	費用
ニュージーランド	中3～高Ⅱ	5名	1月下旬～4月頭	ホームステイ	約130万円
アメリカ・サンディエゴ	高Ⅱ(中3で申請)	2名	8月～翌年6月	ホームステイ	約670万円
カナダ・ビクトリア	高Ⅱ(中3で申請)	2名	8月～翌年6月	ホームステイ	約490万円



7. 施設について

ファブラボ



常設機器

・レーザーカッター ・3Dプリンター ・3Dスキャナー ・プロジェクター ・PC
・作業デスク ・チェア ほか

ファブラボは聖学院のものづくりステーションです。中学1年生の情報プログラミング授業で立体的デザインを作る際に3Dプリンターを使用したり、高校グローバルイノベーションクラスの授業でレーザーカッターを使用したりなど、授業でも課外でも生徒たちは自在に機材を活用できます。テクノロジー技術が激しく変化・発展していく社会の中で、目の前で発生している事象の仕組みを想像できるような人材育成を目標に設置された施設の一つです。授業を通して、ペンタブ (Wacom)、プロジェクター (CASIO)、ILLUMMEなど、各企業から借りている機器が揃っていることも特徴の一つです。

図書館

本校図書館は、中学校舎昇降口の隣に位置し、中学生・高校生が共用する図書館です。中学1年生から高校Ⅲ年生までが利用するため、簡単な読み物から、学校推薦型・総合型選抜に対応できるような専門性の高い本まで、多様な図書を揃えています。新しい本が次々到着するのも本校図書館の特徴で、カウンター横に設置している新着コーナーの本は、日々入れ替わっています。

館内では、生徒自らが興味をもって本に手を伸ばす機会になるよう、工夫を凝らした様々な展示があります。(例:本を「薬」と捉え、気分に合わせて本を袋詰めにした『処方図書』など)これらの展示は、時節や話題のテーマによって次々に変わり、生徒に多種多様な本を紹介しています。

また、本棚にも工夫を凝らしており、「文庫本」「新書」「辞書・事典類」「一般書」という棚だけでなく、「多読用の洋書」や、おもに本校卒業生が執筆した本を集めた「聖学院コーナー」、学校行事に関連する「沖縄平和学習」「糸魚川

農村体験」「蝶ヶ岳登山」「タイ研修旅行」などの棚が設置されています。教員から、これらの多様な資料を使った授業を実施したいという希望も多いため、プロジェクターや大型ディスプレイを備え、授業の場としても利用することができるようにしています。



蔵書冊数	約43,000冊	貸出冊数	10冊まで
年間購入冊数	約1,000~2,000冊	貸出期間	2週間(長期休暇期間中は別途指定)
担当者人数	司書教諭1名、図書館スタッフ5名	雑誌	40誌(信徒の友、鉄道ファン、Newton、子供の科学 等)
座席数	閲覧席(平机)48席、音読コーナー2席、個人席20席	新聞	9誌(朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、東京新聞 等)
開館時間	7:30~18:30(授業実施日) 8:00~17:00(授業実施日以外)	蔵書・インターネット 検索用PC	PC2台※館内生徒用Wi-Fi利用可



◀ 図書館ホームページはこちらから。図書館イベントや推薦本などの情報を発信しています。

フューチャーセンターC



2024年12月に既存のPCルームをリニューアルし誕生した多機能学習空間です。生徒同士の対話や発表、一人での探究など、学びの目的に応じて自由に使える多目的教室です。机や椅子は動かせる設計で、グループ活動にも個人学習にも対応。窓際は落ち着いて探究できるカウンター型で個別スペースを確保。スポットライトとカーペットで演出された発表ステージも備えています。授業はもちろん放課後も開放され、企業連携ワークショップや自主活動を通じて、生徒の主体性と創造力の育成を目指しています。



2つの画面をスクリーンに映し出すことが可能



カフェのようなカウンタースペースも用意



クッションでリラックスしながらミーティングすることも

Pickup

中学生も利用可能な食堂

中学1年生から高校Ⅲ年生まで利用できる230席の広々とした学食。廊下の券売機で食券を購入して利用します。



12:25~ 昼休みの食堂 利用の様子

